令和3年度第6回　うべ未来モニターアンケート集計結果

1　アンケートのテーマ

『障害のある人への理解について』

(1)　実施期間　令和3年10月11日（月）～10月24日（日）まで
(2)　担当部署　障害福祉課

2　モニター数・アンケート回答者数

(1)	メール・郵送文書到達モニター数	783 人
(2)	回答者数（回答率）	357 人（45.6 %）

3　回答者の属性

※　端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

【年代】

項目	回答者数	比率	グラフ
10歳代	2 人	0.6 %	
20歳代	8 人	2.2 %	
30歳代	34 人	9.5 %	
40歳代	61 人	17.1 %	
50歳代	76 人	21.3 %	
60歳代	74 人	20.7 %	
70歳代	94 人	26.3 %	
80歳代	8 人	2.2 %	

357 人

ご協力、ありがとうございました。

【居住校区】

項目	回答者数	比率	グラフ
東岐波	18 人	5.0 %	
西岐波	30 人	8.4 %	
恩田	36 人	10.1 %	
岬	10 人	2.8 %	
見初	5 人	1.4 %	
上宇部	33 人	9.2 %	
神原	10 人	2.8 %	
琴芝	20 人	5.6 %	
新川	21 人	5.9 %	
鵜の島	11 人	3.1 %	
藤山	22 人	6.2 %	
原	9 人	2.5 %	
厚東	6 人	1.7 %	
二俣瀬	7 人	2.0 %	
小野	8 人	2.2 %	
小羽山	10 人	2.8 %	
常盤	20 人	5.6 %	
川上	16 人	4.5 %	
厚南	7 人	2.0 %	
西宇部	17 人	4.8 %	
黒石	16 人	4.5 %	
船木	4 人	1.1 %	
万倉	8 人	2.2 %	
吉部	6 人	1.7 %	
在学・在勤	7 人	2.0 %	

N=357

【性別】

項目	回答者数	比率	グラフ
女性	164 人	45.9 %	
男性	193 人	54.1 %	

N=357

4　回答集計

※　比率は、各設問の回答対象数（N）に対する割合を示しています。
※　単数回答であっても、端数処理のため比率の合計が100%にならない場合があります。

『障害のある人への理解について』

担当部署　障害福祉課

アンケートの趣旨
本市では、障害のあるなしにかかわらず、お互いの個性を認め合い、心豊かに共生できるまちづくりを進めており、市民の皆様のご意見をお伺いし、今後の障害福祉施策に活かしていきたいと考えています。本アンケートへご協力をよろしくお願いします。

問1　あなたは障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたことがありますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1．ある　→問１－１へ	266 人	74.5 %	
2．ない　→問１－２へ	91 人	25.5 %	

N=357

問１－１　問１で「１．ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような気持ちからですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1．困っているときはお互い様という気持ちから	168 人	35.2 %	
2．身内などに障害のある人がいて、その大変さを	53 人	11.1 %	
3．特に理由はない	85 人	17.8 %	
4．自分の仕事に関連して	82 人	17.2 %	
5．近所付き合いや親戚付き合いなどで	28 人	5.9 %	
6．将来、自分も障害になる可能性があるから	42 人	8.8 %	
7．その他	16 人	3.4 %	
8．わからない	3 人	0.6 %	

N=477

問1－２　問1で「２．ない」と答えた方にお聞きします。なかったのはどうしてですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1．たまたま機会がなかったから	78 人	49.1 %	
2．どのように接したらよいかわからなかったから	22 人	13.8 %	
3．自分が何をすればよいかわからなかったから	19 人	11.9 %	
4．特に理由はない	16 人	10.1 %	
5．お節介になるような気がしたから	9 人	5.7 %	
6．専門の人や関係者にまかせた方がよいと思った	9 人	5.7 %	
7．その他（　　）	6 人	3.8 %	

その他
・仮に機会があったとしても、適切な対応を気軽にできる自信がない。 ・初級障害者スポーツ指導員資格を所持しているが、宇部はスポーツ大会が少ない。 ・機会があれば、自分のできる範囲で頑張りたい。 ・「こちらの気持ちが分かるはずがない」と言われてから、引っ込み事案になってしまった。 ・母親が事故で左ひじから下を無くし、障害者手帳二級になります。他人とは無い。 ・現時点で思い出そうとしても浮かんできません。障害がある人と意識していなかった例があるかもしれません。

N=159

問2　あなたは障害者理解に関する研修会や講演会に参加したことがありますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
1．参加したことがある	157 人	44.0 %	
2．参加したことはない	200 人	56.0 %	

N=357

問3　あなたは「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」を知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．名前は聞いたことがある	83 人	23.2 %	
２．内容も知っている	31 人	8.7 %	
３．知らない	243 人	68.1 %	

N=357

※「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」とは、障害のある人にとって、それぞれの障害の特性に応じたコミュニケーション手段の選択と利用ができるような環境を構築し、障害のある人もない人も全ての市民がお互いの人格と個性を尊重し、支え合いながら生きる共生社会を実現することを目的とし、平成29年4月に施行された条例です。

問4　あなたは「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」を知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．名前は聞いたことがある	110 人	30.8 %	
２．内容も知っている	57 人	16.0 %	
３．知らない	190 人	53.2 %	

N=357

※「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」とは、障害を理由とする差別の解消を推進し、全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資することを目的とし、平成28年4月に施行された法律です。

問5　障害者差別解消法では、障害のある人がない人と同じように生活するために、過大な負担とならない範囲で配慮や工夫を行う「合理的配慮」が求められています。あなたはこのような「合理的配慮」について知っていますか。（あてはまるもの１つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．名前は聞いたことがある	97 人	27.2 %	
２．内容も知っている	62 人	17.4 %	
３．知らない	198 人	55.5 %	

N=357

※「合理的配慮」とは、障害のある人とない人の平等な機会を確保するため、障害のある人の特徴や場面に応じて発生する障害や困難さを取り除くための調整や変更のことです。

問６　あなたは地域社会の中で障害のある人に対する配慮や工夫が進んできたと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答数	比率	グラフ
１．かなり進んできた	31 人	8.7 %	
２．どちらかといえば進んできた	212 人	59.4 %	
３．変わっていない	70 人	19.6 %	
４．どちらかといえば後退している　→問６－１へ	2 人	0.6 %	
５．後退している　→問６－１へ			
６．わからない	42 人	11.8 %	

N=357

問６－１　問６で「４．どちらかといえば後退している」「５．後退している」と答えた方にお聞きします。なぜ、そのように思われたのか、ご記入ください。

・行政が理解していない。形だけは格好良く言われているが、勉強不足だと、日々感じる。本気で取り組んでいるとは思えないです。だから、利用者さんもだんだん減っていますよね。諦めているのではないですか。とても残念でならないです。

・車の道は、どんどん立派な道路ができてありがたいけど、歩道とかは、相変わらず車椅子がひっくり返らないか気になる所が多くて、心配で見てしまう。

問７　あなたは地域社会の中で、障害があることを理由にする差別があると思いますか。（いずれかに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．ある　→問７－１へ	276 人	77.3 %	
２．ない	81 人	22.7 %	

N=357

問７－１　問７で「１．ある」と答えた方にお聞きします。それはどのような時ですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．仕事や収入	234 人	25.8 %	
２．教育の場	92 人	10.2 %	
３．人間関係	138 人	15.2 %	
４．冠婚葬祭	30 人	3.3 %	
５．スポーツ・趣味の活動	73 人	8.1 %	
６．地区の行事・集まり	45 人	5.0 %	
７．まちなかでの視線	112 人	12.4 %	
８．店などでの応対・態度	59 人	6.5 %	
９．交通機関の利用	113 人	12.5 %	
１０．その他（具体的に　　）	10 人	1.1 %	

その他

・全て。

・障害のある人が、ある飲食店にて、社会への関わりを持つためにバイトをしていた。厨房にて、健常者から、障害のことをバカにされ、差別的な発言があった。内部告発があり、障害者のバイトは打ち切られた。

・小学生が子ども用の車椅子に乗っているのを見た人が、「子どもを甘やかしている」と陰口を言っているのを聞いた。

・健常者と同様には接していないし、設備的にも対応できていないところがあると思う。

・地域のふれあいセンターの設備のバリアフリー化が進んでいない（例えばエレベーターの設置）。

・歩道等の交通環境。

・行政。

・差別の定義にもよる。

・障害がある方に接したことはないが、差別をする人はいると思う。

・差別と区別の差異が、よく理解できていない。能力別の給与評価は差別か？進捗の遅い子どもの特別学級は差別か？

N=906

問８　あなたは、障害のある人にとって住みよいまちをつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるもの５つ以内に○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．何でも相談できる窓口をつくる	172 人	12.4 %	
２．福祉に関する情報を広報やホームページなどで周知する	68 人	4.9 %	
３．障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の場をつくる	102 人	7.4 %	
４．ボランティアを育成する	85 人	6.1 %	
５．障害のある人が在宅での生活がしやすいよう、保健・医療・福祉のサービスを増やす	148 人	10.7 %	
６．リハビリ・生活訓練・職業訓練などの通所施設を整備する	91 人	6.6 %	
７．障害のある人や子どもが地域でともに学べる保育・教育を進める	143 人	10.3 %	
８．障害のある人が働ける場所を増やす	196 人	14.2 %	
９．住民同士がふれあう機会や場をつくる	71 人	5.1 %	
１０．道路・建物などを利用しやすくする	108 人	7.8 %	
１１．災害時にスムーズな避難ができるしくみをつくる	70 人	5.1 %	
１２．差別や偏見をなくすための福祉教育や広報活動を進める	122 人	8.8 %	
１３．その他（具体的に　　）	9 人	0.6 %	

その他

・障害のない人の障害者に対する考え方、行動の改善。
・わからない。
・行政が理解を深める。
・バス通勤をしていた障害のある女性が、昨年のコロナ禍で突然姿が見えなくなった。解雇されたと思われる。
・差別という論点での教育ではなく、いつ自分や自分の家族が病気・事故などで障害をもつか分からないという事を教育や公共の場で伝えてほしい。そのうえで、自分自身でどうするべきかを考えさせる事が必要だと思います。
・障害と一言にいっても、内容や程度、環境等の背景は千差万別で、時期は色々あれど、本人や家族のことを考えれば、ほとんどの人がいずれは関係する事実。そのことを皆が認識し、特別と感じない環境とすることが大切。
・何が必要か分からない。理由は、障害の状況・レベルの判断が人によって違うと思うから。車いすの方だったら、完全盲目の方だったら・・・わかるけど、できる・できないは健常者でも差がある。何をもって、健常者であるかも、不明。
・まずは行政が変わるべきでは？
・障害のある人に聞くべき。

N=1,385

問９　あなたが利用する施設や店舗で、バリアフリーに対応していないと思うのは、どのような施設や店舗ですか。（あてはまるものすべてに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．学校	134 人	13.6 %	
２．病院、診療所	29 人	2.9 %	
３．マッサージ、はり、きゅうの施術所	12 人	1.2 %	
４．郵便局、銀行、その他の金融機関の店舗	71 人	7.2 %	
５．社会福祉施設（老人ホーム、障害者施設など）	1 人	0.1 %	
６．食品や雑貨など物品を販売する大型の店舗（スーパーマーケット、ホームセンター、量販店など）	100 人	10.1 %	
７．食品や雑貨など物品を販売する小型の店舗（個人の商店など）	186 人	18.8 %	
８．飲食店	161 人	16.3 %	
９．理髪店、美容院	90 人	9.1 %	
１０．クリーニング取次店、貸衣装屋	51 人	5.2 %	
１１．ホテル、旅館	31 人	3.1 %	
１２．学習塾、華道教室、書道教室などの学習支援教室	78 人	7.9 %	
１３．その他（具体的に　　）	44 人	4.5 %	

その他

・市公共施設
・各市民センター、各ふれあいセンター（エレベーターがない、階段が上がれない）
・公民館
・学校は、１階はバリアフリー化されているが、２階・３階への移動が大変だと感じる。児童が車椅子を抱えて移動している。
・障害のない人の言動や心の中のバリアフリー
・大きな駅はエレベーターがあるが、ない所が多い。宇部新川駅。
・歩道。平らではなく、歩きにくく、狭い。
・田舎の道路
・北部では上記の場所までの交通手段が無い、もしくは不便。
・築４０年以上のすべての建物
・平成初期以前に建てられた施設すべて（バリアフリーの概念自体がなかったから、致し方ない）
・ここでいう選択項目は皆できていると感じているが、個別の施設（店舗）の問題。
・個別に状況が違っているため、一括りにはできない。店舗ごと、経営者ごとに違っている。
・あるスーパー銭湯は、階段の登り降りができないと、ゆったりコースが利用できない。ゲームセンターもエスカレーターが壊れたとかで直していない。
・自分の行動範囲ではバリアフリーになっている。
・自宅
・住んでいる集合住宅で階段に手摺りがない。信じられない。
・そういう視点で見ないのでわからない。それぞれピンキリで全てを一括りにできない。
・自分が障害者でないので、対応しているかどうかが分からない。
・気にしたことがない
・特になし

N=988

問１０　あなたは、宇部市が障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．思う　→問１０－１へ	13 人	3.6 %	
２．やや思う　→問１０－１へ	140 人	39.2 %	
３．あまり思わない　→問１０－１へ	99 人	27.7 %	
４．思わない　→問１０－１へ	8 人	2.2 %	
５．わからない	97 人	27.2 %	

N=357

問１０－１　問１０で「１．思う」「２.やや思う」「３．あまり思わない」「４．思わない」と答えた方にお聞きします。
何に関して、そのように思いますか。（あてはまるもの５つ以内に○）

項目	回答者数	比率	グラフ
１．相談窓口に関して	61 人	7.9 %	
２．福祉についての情報の周知に関して	63 人	8.1 %	
３．障害のある人が活動する場に関して	108 人	14.0 %	
４．ボランティア活動や人材育成に関して	65 人	8.4 %	
５．障害のある人が利用できる福祉サービスに関して	86 人	11.1 %	
６．保育や教育に関して	52 人	6.7 %	
７．就労に関して	99 人	12.8 %	
８．地域での生活に関して	71 人	9.2 %	
９．バリアフリーに関して	83 人	10.7 %	
１０．障害のある人に対する周囲の理解に関して	73 人	9.4 %	
１１．その他（具体的に　　）	13 人	1.7 %	

その他

・学校施設
・公共施設
・2階に上がる場合
・特に道路の段差。デコボコの道路が多い。
・交通の便が悪い。障害のある人は、公共交通機関の利用が重要。だから、大阪や福岡などの大都市圏で住む方が楽だと考える障害者が多い、という話を聞いたことがある。
・人間同士の交流は〇。建物・施設・設備の面でもうひとつ△。
・親切な人が多い
・市内で、電動車椅子に乗った方が１人で買い物や移動をされる姿をよく見かけるので。
・市民の意識が低い。行政は、積極的に発信してほしい。
・特別に力を入れている訳ではないように見えるから
・今、既に「暮らしやすい町」になっているか否か？というのではなく、時代に応じ、流れに応じて、その都度常にニーズに応じた取り組みが必要だと思う。
・私を含めて、どう接していいか分からない人が多いと思う。
・こういう視点で宇部市を考えたことがなかったので、問題点が分からない。

N=774

（参考）問１０と問１０－１のクロス集計

	問10	1．思う	2．やや思う	3．あまり思わない	4．思わない
問10－1	回答数	31	413	302	28
1．相談窓口に関して	61	6	41	13	1
2．福祉についての情報の周知に関して	63	3	41	17	2
3．障害のある人が活動する場に関して	108	5	54	45	4
4．ボランティア活動や人材育成に関して	65	2	40	21	2
5．障害のある人が利用できる福祉サービスに関して	86	3	53	28	2
6．保育や教育に関して	52	2	26	21	3
7．就労に関して	99	1	51	43	4
8．地域での生活に関して	71	4	28	36	3
9．バリアフリーに関して	83	2	36	41	4
10．障害のある人に対する周囲の理解に関して	73	3	35	33	2
11．その他（具体的に　　）	13	0	8	4	1

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

自由記入の内容
別紙

担当部署による総括
障害があることを理由にする差別があると答えた人は、令和2年度のアンケートでは81.5%であったのに対し、令和3年度は77.3%に減少しました。一方で、障害のある人に対する配慮や工夫が進んでいると答えた人が、令和2年度は69.5%であったのに対し、令和3年度では68.1%、と若干減少しています。 また、「宇部市障害のある人へのコミュニケーション支援条例」「障害者差別解消法（障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）」及び「合理的配慮」について知らないと答えた人が過半数以上であり、更なる周知啓発が必要なことが分かりました。 なお、自由記入欄では「市民に障害に対する理解や情報を周知してほしい」「障害についてより理解できる体制整備が今後も必要」「障害のある人も自分たちと変わらないことに気付く体験の機会が必要」といった意見があり、理解を深めることを求められていることも分かりました。 今回いただいた様々なご意見を参考に、障害のあるなしにかかわらず、互いの個性を認め合い、誰もが安心して暮らせる地域共生のまちづくりへの取組みを推進してまいります。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
1.公共施設	男	80	ふれあいセンター等の設備が殆ど行き届いていません。例えば2階への昇降に対する設備をもっと徹底してほしいです。
1.公共施設	男	70	施設の改築時にはバリアフリーの建物ができるけど、そうでない時、わざわざお金をかけて作りかえる余裕はないと思う。
1.公共施設	女	60	ふれあいセンター等は、早く実行するべきだと思います。
1.公共施設	男	80	新庁舎が完成しつつありますが、視覚障害者にとっては、洋式トイレを機能的にして複雑なものは設置してほしくない。旧庁舎ではトイレの向きが一定していない。
2.啓発	男	80	障害者への理解は知識レベルの問題ではなく、体験を通した継続性が必要だと思う。組織的には社会福祉協会の運用形式でよい。先ず人材育成！
2.啓発	男	70	各地区の団体機関の勉強会で情報を周知し、理解者を増やす（講師：障害福祉課）。最近、認知症サポーター登録を完了しました。
2.啓発	男	70	自分の家族や親類に障害者がいないので大変さの情報が入ってこない。接する機会もないので交流がない。
2.啓発	男	70	障害者へ関する理解についてあまり承知していないが、「障害者差別解消法」及び「障害者の人権」等を市の広報活動において周知することが必要であると思う。
2.啓発	男	60	今まで以上に推進していただきたい。
2.啓発	男	40	パラリンピックは、障害者への理解が進むとても大切なイベントだったと感じました。障害者スポーツの促進が、障害者への偏見をなくす近道であると考えます。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	70	問10で「わからない」としましたが、障害者との接触が日ごろないため、障害者にとって住みやすい街かどうか判断できない。障害者に優しい施設や対策が進んでいることは実感しています。
2.啓発	女	50	今年から身内が視覚障害者になったが、障害について今まで考えたことがなかった。身近に障害の方がいないと、ほとんどの方は、興味がないのではないかと思う。 障害の方と健常者の方が一緒に生活できる社会にならないと、お互いの理解はできないと思う。一緒に仕事、一緒にスポーツ、一緒に生活できる社会になればと思う。自分が先に死んでも、障害を持った子どもが安心して暮らせる社会になってほしい。
2.啓発	女	50	障害をもった方と一緒に活動する機会は、求めないと無いような気がします。あまり接する機会がないということは、障害をもった方が普通の生活の場に、あまり出てこられていない、または、隠しておられるのでは？そうだとすれば、まだまだ暮らしやすいまちとまでは言えないのではないでしょうか。
2.啓発	男	40	障害者福祉施策について情報が少ない、知る機会が少ない。
2.啓発	女	40	娘が療育手帳を取得しています。娘は、ぱっと見障害がある様には見えない為、逆にわかってもらいにくいです。例えば肢体不自由の方(車いすや杖を使用してる方など)は、バリアフリーなど、皆さんが考えればわかる支援の仕方があると思いますが、娘の様な、見た目でわからない人への支援は皆さん正直わからないだろうなぁと思います。どうやったら周知してもらえるのかなぁ…と思ってます。
2.啓発	男	70	ハード面ではある程度進んでいると思われるが、ソフト面で子どもたちへの教育が必要と思う（どのように共生するかの観点で）。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	50	このようなアンケート自体が進歩につながると思います。宇部市をあげて、ハンデやマイノリティ、その身内の方が居心地良いと感じたり、少しでも楽しいと思える機会提供に邁進してほしい。宇部市はそのルーツや発展で他人事では無いので、そういう取り組みが町の特色や人の呼び込みに繋がると思います。例えば、デモやパレード、集会におおらかな特区や町おこしに名乗りを上げてはどうでしょうか？町の医療、宿泊、飲食、移動などの回転にも貢献するし、これからの市民生活、時代先取り、政治家の活躍の場など、学習機会にもなる。偏見を無くすのは学者ではなく、共に生きる事での慣れだと考えています。宇部は全てに優しくなれる町です。
2.啓発	女	50	今年から娘が視覚障害者になりました。仕事も退職し、現在針灸の学校へ通っています。障害の法などがあるなんて初めて知りました。もっと、市民に障害に対する理解や情報を周知してほしいです。
2.啓発	男	40	多くの障害者施設は、郊外に建てられていると思います。市の中心地付近に建てることができれば、交流などを通して理解が増えるかもしれません。また、パラリンピックの放送を通して、以前より障害者スポーツへの理解が深まっていると思います。この燈火が消えないようにできればと思います。具体的なことまでは言えないのですが。
2.啓発	女	60	頑張っていらっしゃると思います。ネットやテレビで時々情報を流されると分かりやすいですかね。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	70	障害者への差別や偏見をなくす等の教育は、小・中学時代にするべきである。子ども時代に受けた教育は一生ものである。いつ自分の事になるか等、自分のこととした教育が必要である。
2.啓発	女	30	広報のお陰で、身内の発達障害の早期発見と対応が可能となりました。ありがとうございます。
2.啓発	女	50	市内の私立高校で、教員が特質のある生徒に対して知識がなく、不適切な対応、言動をとり、生徒及びその家族は心痛し学校をやめることとなった。目に見える障害と見えない障害があり、発達障害の子どもは、見た目ではわからない。近年、特別支援学級在籍の生徒も一般に受験ができ、公正にどの高校にも入学はできるのだろうが、入学後、高校によっては、配慮してもらえないことが現実にある。受け入れる学校は、障害のある子どもの特性や障害の知識、対応の仕方など、教職員の教育をするべきだと思う。
2.啓発	男	40	「健常者はスポーツを楽しめばいい、障害者はスポーツがないと生きていけない」という言葉がある。障害者福祉を充実させるなら、障害者スポーツを充実させるのが良いと考えます。今回、パラリンピックで障害者ががんばる姿をみて、「すごいなぁ」と思った人も多いはず。こういう場をたくさん作ることが、障害者理解への近道ではないでしょうか？

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	50	障害の状態は各人それぞれ。とりあえず、障害手帳等を持たれている人が、不便だ！やりたいことができない！と思うことを対応するしかないと思います。（街中・田舎・場所によっても違いますから・・・）障害と認知されたい人もいれば、障害と認知されたくない人、気付つかない人もいます。社会全体が、障害も個性だと思うことが必要ですが、健常者にもいろいろな方がいます。このようなアンケートで「どんなこと、どんな場所で不具合があるか？」「助けたことがあるか？」を聞いてみれば良いと思う。
2.啓発	男	70	自治会や地区の活動に参加していますが、障害者と接する機会がほとんどありません。障害者が参加しにくい環境になっているのかもしれませんね。自治会内に障害者がどのくらいおられるか考えることも大切だと思います。
2.啓発	男	70	どの様な要請があるのか？その情報源はどこから発信されるのか？独居高齢者情報は多数入るが、障害者情報は６年間コミュニティ推進協議会を担当しているが入らない。
2.啓発	男	70	発達障害の子どもが小学校に入学するのに、学校、教師及び周囲が本気で取り組み、子ども及び家庭が安心できるように進めるべきである。また、教育委員会と一体となり進めるべきである。
2.啓発	女	20	妊婦や産後で、身体障害者用駐車場を利用する時に文句を言われたことがある。そういう人も使っているということを理解してもらえてない(特に高齢者)。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	60	これからは、見てわかる障害だけではなく、内部障害についても市民の理解が得られるよう情報の周知をしてもらいたい。
2.啓発	男	50	直接の関わりが少ない状況のため、障害者福祉施策の状況がよくわかりません。ただ、施設（公私とも）は障害者の方に利用しやすくなってきたと思います。障害についてより理解ができる体制整備が今後も必要だと思います。
2.啓発	女	60	健常者と同じ目線で物事をみていたら、そんなに障害者だからというようには思えない。区別してみる方がおかしい。普通に接して、困っていたら自然に手を差し出したらいい。職場でも誰も区別して仕事はしない。障害者のかたも、健常者だと思って生活してると思う。あまり障害者ばかりの集まりはのぞまない。皆、自然に学校・社会で生活できることが一番だと思う。
2.啓発	男	70	障害者の方に対する対策で、公共施設では車いすの設置、トイレの名称変更、段差の解消などハード的な対策は少しづつ解消してはいると思いますが、メンタル面での対策が少し遅れているように思います。行政からの広報・啓発活動や出前講座での啓発促進など、地域の中でもっと多くの取組が必要と感じます。
2.啓発	男	40	情報が少ない。障害を持つ方が、何に対して困っているのか理解できていないケースが多いように感じる。学校教育でもっと積極的に広範囲に学べるようなプログラムも検討してほしい。成人対象のセミナー等も、何かのイベントに合わせて行えば。プロスポーツのハーフタイムイベント、音楽イベントの合間など。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
2.啓発	男	60	地区の社会福祉協議会をうまく動かしていくようにしたらいいのではないかと思います。
2.啓発	女	60	障害を持った子どもたちが特別な学校で学ぶことが多いので、地域の学校で学ぶ子どもたちが障害を持った子どもたちを目にすることがないのが気になります。できるだけ小さい時から、障害を持っていても自分たちと変わらないことに気づく体験の機会が必要だと思います。
2.啓発	女	50	もう少し、広報活動に力を入れて、活動等を幅広く市民にアピールしてほしいです。
2.啓発	女	40	地域での障害者に対する周知活動を増やしてほしい。人権問題の集まりは高齢者ばかり。もう少し若い世代が集まりやすいものにしてほしい。このコロナ禍で手話も注目されているので、手話講習会などをどんどん増やしてほしい。
3.生活環境	女	70	道路のバリアフリー。視覚障害者が、狭い道路を盲導犬と一緒に歩くのは危険です。また、障害者→障害者と変えた方が良いと思います。（害ではありません）
3.生活環境	女	50	お友達に、車いすを使っている方がいます。街中の道路、トイレがなかなか利用しにくい、スーパーの通路が通りにくいと言っておられました。いろいろ不自由な点も多いと思いますが、それぞれが気遣いあえればと思います。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.生活環境	女	60	バリアフリーや車いすの設置、エレベーター等も、大きな商業施設や総合病院、新しい医院等は充実していますが、車いすでしか移動できない母は、エレベーターがなく、2階にある歯医者等が利用できなくなりました。スーパーや衣料品店なども、車いすで移動するには通路が狭く、他の方に迷惑となり、あまり行かなくなりました。随分改善されてきていますが、これから先ますます車いすでも遠慮なく利用できる施設が充実していってほしいと思います。
3.生活環境	女	70	行政はよくやっているとは思いますが、現場がまだ追いついていないように思います。学校や飲食店のバリアフリー化が進んでいない。障害者の周りにいる人たちの理解は深まっているが、接する機会のない人たちは、良くも悪くも考えることがない。
3.生活環境	女	50	歩道の点字ブロックと道路の境の段差がありすぎると思う。歩道を自転車で走ってもガタガタするけど、車いすの人は、大丈夫なのかなぁ。歩道の整備をもう少ししてほしい。
3.生活環境	男	50	障害者だけでなくすべての人に安全な街づくりの推進。いくら公共施設のバリアフリー化が進んでも、そこへ至る歩道などに未だ段差が多く一向に改善されない。障害者にとって危険な段差は、高齢者やそれ以外の人にとってもつまづきやすく危険である。道路整備課など他の組織とも連携して改善に取り組んでほしい。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
3.生活環境	女	60	スーパー等の駐車場で、障害者の駐車場に証明書なしで、健常者とわかる人が駐車されている様子が見受けられます。
3.生活環境	男	70	民生児童委員の立場上、障害者に対しては常に温かく見守るように接しており、稀にこのままでは障害者は利用しづらいだろうなと感じる事がある。今までは、仕方がないのかなと思っていたのだか、今後はそのように感じた事、場所などは、ネイティブ宇部などを利用し速やかに情報提供しようと思う。また、地区民生児童委員協議会のメンバーにはネイティブ宇部への登録を行い、速やかな対応ができるように働きかけを行います。
3.生活環境	男	60	障害者に対するバリアフリーができてないのは、教育機関が一番多いと思います。
3.生活環境	男	60	バリアフリーはビルでは進んでいると思いますが、道路、とくに歩道はまだまだだと思います。インフラ面の改善が必要です。
3.生活環境	男	60	まだまだ発展途上だと思う。特に人の理解はまだまだで教育が浸透していない。それと鉄道を含む公共設備、特に田舎では全くといって良いくらい利用できない施設が多い。平面の移動は可能でも垂直移動ができない。どこの誰でも障害なく住める社会でないと！そんな宇部市にしていきましょう！
4.障害福祉	男	60	積極的な財政の投入による多種多様な取り組みをしてほしい。
4.障害福祉	女	60	障害者の賃金の格差、また就労支援を充実させてほしい。 また、教育現場での施設の充実・整備にとりくんでほしい。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.障害福祉	女	30	障害や病気があれば利用できる補助金や支援はありますが、なかなか「前年度収入」や、同じ病気でも「軽症・重症」の違いで、利用できない場合があります。私自身、自己免疫疾患・精神疾患とありますが、「特定疾患」の補助を受けられていません（症状が軽いとの返答でした）。収入も限られ、シングルマザーであり、病院代・薬代とばかになりません。まだまだ、市・県で取り組めるものがあるなら、取り組んでいただきたいです。泣き寝入り、仕方ないと諦めている人は、多数いると思います。
4.障害福祉	男	70	今もサービス体制はしっかりしていると思いますが、障害者をお持ちのご家族（特に高齢の親御さん）に何かあったときにも、障害者が安心して生活できるように、充実した相談窓口の設置と入所可能な施設などをお願いいたします。
4.障害福祉	男	30	自営業をしていて子どもが自閉症なのですが、土・日・祝日に受け入れをしてくれる施設が少なく困っています。他の親御さんも、そのために就労が困難な人がいます（障害者本人ではなく）。そのために、精神的、肉体的な疲労も多く、自分自身も兄弟児も障害者本人に対して不満をもってしまい、心のケアがされず負の連鎖になりがちです。（その結果、親が障害を持った子を殺害してしまうという事件が起こっているのがニュースで取り上げられています。） 障害者自身を大切にすることも大事ですが、そこに関わる家族や関係者（支援者）の心のケアなど、持続可能な環境を作り上げる事が必要だと思います。
4.障害福祉	男	30	私自身も理解が不足してますが、身体的な障害と精神的な障害があり、精神的な障害への対応が遅れているように感じます。カウンセリングなど、充実してほしいです。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.障害福祉	男	70	個人情報が制限されていて、周りにどんな方がおられるかわからない、難しいと思いますが、わかれば災害のときでも声かけ、お手伝いができるのではないでしょうか。
4.障害福祉	女	50	私の職場に障害のあるお子さんをかかえてお勤めされてる方がいます。養護学校を卒業後、2件だったか、施設をハシゴして預けて働いておられます。義務教育の年齢が過ぎると、時間制限のある民間の施設に預けるか、公的な施設だと住み込みが可能だが遠くになってしまうと聞きましたが、それも順番待ちとか…(遠いとなかなか会えなくなって心配だとか)。そういった面で、お母さんもお子さんも何とかならないものでしょうか。
4.障害福祉	女	50	障害を持つ人の働く場が少ないと思います。特例子会社などがもっと増えるように働きかけができないのでしょうか。それと、公共交通機関が不便なので、障害のある方は移動も大変そうに思います。
4.障害福祉	男	70	就労の場を積極的に。
4.障害福祉	男	70	民生委員及び自治会長が認めた障害者家庭のごみを無料で巡回し回収してほしい。障害に対応する自宅改造費の補助があれば、広報で周知、無ければ補助枠を新設してください。
4.障害福祉	女	30	障害者にも根強い偏見があるが、親族や子どもに障害がある場合、やはり隠してしまう。とくに発達障害やグレーゾーンは支援が少なく、就職などに不利。障害者手帳がある場合の公務員採用などを積極的に行ってほしい。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.障害福祉	男	50	福祉とは、子どもから高齢者、妊婦、一時的に病んでいる人たちを含めて、何らかの社会生活に対応するのに難しいことがある人たちにとって、暮らしやすくするために大切な制度だと感じています。社会的に困難なことを抱えている人達が暮らしやすい社会は、きっと皆が暮らしやすい優しい社会。たとえ今は元気でも、もしもの時に安心して暮らせると感じることができれば、長く住み良い地域へ繋がると感じています。しかし、全てを行政が担うのではなく、本人や家族が主体のもと、必要ならば必ず何らかの手助けはできますよという環境が大切と考えています。助け合えるという意識を互いに持てるようになることが大切。
4.障害福祉	女	50	障害にもいろいろあります。最終的には家族がどうにかしないといけません。相談するにもいろいろと制限があります。家族はこの子を殺して死のうかと思う時もあります。いろいろ相談窓口に行きましたが、行くたびに「あーやっぱりね。」ってなります。障害の子を産みたくて産んだわけでもありません。生まれて来なければ良かった、なぜ産んだと言い続けられると心が折れます。
4.障害福祉	女	50	行政の対応が、合理的配慮を考えた行動とはとても思えないです。福祉の情報保障の仕事をしていますが、それすら知らない人がどれだけいるかわかりますか。まして、私たちへの対応も杜撰です。それを身にしみて感じる。障害を持つ方に対して充分といえることは、されていませんよ。共生社会ジュニアサポーターも子どもがやりたくて参加しましたが、職員の偏った対応に大変心を痛めて、傷つきました。表面上を繕って、やってます感を出すことよりも先急ぎやるべきことがあるのではないでしょうか。この意見を書いても改善されず、返答もないことは予測がつきますが。それでも私は個人としてやれることはしたいと思っています。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.障害福祉	男	80	障害の種類に関して、どこの行政窓口に相談に行けばよいのか分かりません。担当部署と周知方法を具体的に示してほしい。
4.障害福祉	男	60	職業訓練所の充実や働く場所の提供を！
4.障害福祉	男	70	障害者や高齢者にとっては、分別ごみ出しは、困難さが極めて高い。目の不自由な方がプラスチックの詳細な分別など、難易度が超高いし、決められた方法で決められた場所・時間に出すのも大変。市としてごみ出しの特例があったと思うが、十分な周知・活用がされていないのでは？ごみの減量には注力するが、ごみ出しの障害者利便性に配慮した活動を知らない。
4.障害福祉	女	50	今一番気になっている障害が発達障害です。（保育に関して）発達障害児の診断待ちが数年。保護者が発達障害の場合も多いです。これでは、親も本人もまいります。小さいうちに特性も分かり、早いうちに療育につながることが大切だと思います。後々、虐待や登校拒否になるケースがあり、療育保育士の育成や場が必要だと思います。発達障害の保育士は１人として換算するのが難しいことがあります。他の保育士と同じように働くのが無理な場合、○○保育士のようにできることを限定しての保育もあるかもしれません。見た目では分からないので、困っている職場も多く、本人も困っているだろうと思います。
4.障害福祉	男	30	障害を持つ方については、社会から取り残されていないと感じられるような日々の挨拶等でも取り組めることはあるかと思います。ぜひ得意なことを生かした働き方を周りの人と一緒に考えていければと思います。また一方で、障害を持っている方に対しての理不尽な忖度等もあるようには思うので、あくまで一人の人間として接するように心掛けたいと思いますし、行政サービスとしても自立しようとしている人を応援できるような取り組みを進めてほしいと思います。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
4.障害福祉	男	50	軽度の障害者に対する支援が薄い。
4.障害福祉	男	60	健常者のように、できるだけ自立した生活ができるようなサポート体制が必要ではと感じている。そもそも、障害のある方々に対して、一般住民は、近くにいる方であっても、まだまだ心情的な面で距離があり、理解度の差も大きい。障害者の方なので、これくらいしかできないだろうと、ひとくくりにしてとらえる傾向がある。できることはもっとあるのに否定されている感じと、若い障害者の方から感想を聞いた。障害のある方こそ、もっと能力開発などが必要なのではないだろうか。
4.障害福祉	男	40	障害に一定の線引をして、優遇される人と優遇されない人に分けるから偏見が生まれるのではないでしょうか。人は運動能力、学習能力などがそれぞれ違い、その適正にあった職業などに就いていると思います。すべて個々の違いの一つとして、該当する特定の人だけでなく、住民全員の利便性を考えて対策を取ってほしいです。
5.その他	男	50	僕も障害者です。
5.その他	女	40	住みよい町になるといいなと思う。
5.その他	女	50	障害にもいろいろあるので具体的には言えないが、障害者の方やその家族が安心して暮らしていけることを願っています。
5.その他	女	60	障害のある人達のお役に立てたらと、少しだけボランティア活動をしています。活動にあたっては、社協の方をはじめ、市の担当者の方もとても親切に対応していただいています。

◎宇部市の障害者福祉施策に対して、ご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

分類	性別	年代	内容
5.その他	男	40	今回の設問では障害者とあるが、定義が広すぎて漠然とした質問になってしまっています。どのような状況に置かれている人なのか明確に提示しないと具体的、効果的な返答は得られないと思います。
5.その他	男	70	障害といっても、身体、知的、精神と範囲が広いので、「障害がある人」として一括りにしての設問には、回答するのが難しいと思います。
5.その他	男	50	車いすで寒いなか裸足でお買いものに行く人をみた。手伝いしない自分が嫌な人に感じるがなにもできない。
5.その他	女	50	障害者福祉施策についてはよくわからない。ただ、障害を持つ方だけではなく、お年寄りや赤ちゃんを連れた方などが、大変そうであれば自然に手を差し出せる人になりたいと思い、日々それに努めています。
5.その他	男	50	僕も、精神障害者なのです。
5.その他	女	50	障害者や老人に優しい市になってほしい。